

桐蔭横浜大学メディアエーション交渉研究所

2011年11月5日（土）公開研究会のご案内

この度、桐蔭横浜大学メディアエーション交渉研究所において、下記の要領にて、公開研究会を開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。ふるってご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

記

日時：2011年11月5日(土)13時20分～17時00分

受付：当日12時30分より受付を始めます。

場所：桐蔭横浜大学(法学部J棟203室)

〒225-8502 横浜市青葉区鉄町1614番地

参加費：無料(会場・資料の準備の都合がございますので、お手数ですが、末尾の要領にてお申し込みのメールをいただきましたら幸いです。)

プログラム概要：

開始時刻	内 容
13:20～	【開 会】(13:20～13:30) 開会の辞 大澤 恒夫・桐蔭横浜大学メディアエーション交渉研究所所長 (桐蔭横浜大学教授、弁護士)
13:30～	【第1部】特別講演 (13:30～14:30) 根岸 和政 氏(産業カウンセラー・大阪大学光科学センター社会学連携部門 特任研究員) タイトル：「危機を乗り越えるリーダーシップと 交渉・メディアエーション」 概要：児童虐待、心の問題の増加問題は、私たちの身近なところで起きています。これらの社会問題の解決を目指す上では、リーダーシップ、交渉・メディアエーションは必要不可欠と言えるでしょう。児童福祉や精神保健福祉の領域で、私が体験した事例を題材として、リーダーシップ、交渉・メディアエーションのあり方について、参加される皆様と、一緒に考える機会となる事を願っています。

14:30 ~	~ 休憩 ~ (14:30 ~ 14:40)
14:40 ~	<p>【第2部】特別講演 (14:40 ~ 15:40)</p> <p>石渡 博光 氏 (横浜地裁・簡裁 民事調停委員)</p> <p>タイトル:「交通事故調停と民事調停委員の役割 (心構え)」</p> <p>概要: 交通事故調停を通して調停委員はどのような心構えで調停に臨んでいるのかという、心の中のお話を中心にさせていただきたいと思います。調停事務を大きく分けると、第1段階として、調停前の作業 (これは調停の申立書を熟読してから調停開始までの作業であります) 第2段階として、第1回の調停期日では、当事者はどのようなことを求めて調停にきているのかを見極める作業、第3段階として、第2回以降から調停成立までの作業となります。そして、この三つの作業に於きまして、調停委員はどのような心構えを以って調停に臨んでいるのか、ということをお話させていただきます。そして、最後に自らの調停への考え方を述べさせていただきたいと思っております。</p>
15:40 ~	~ 休憩 ~ (15:40 ~ 15:50)
15:50 ~	【ディスカッション】(15:50 ~ 16:50)
16:50 ~	<p>【閉会】(16:50 ~ 17:00)</p> <p>閉会の辞 大澤恒夫・桐蔭横浜大学ミディエーション交渉研究所所長</p>

申込方法: 参加ご希望の方は、下記事項をご記入のうえ、11月4日(金)までにミディエーション交渉研究所宛にメール(medinego@cc.toin.ac.jp)または FAX(045 - 974 - 5012) にてお申込みいただきますようお願い申し上げます。

ご芳名

ご所属及び役職

ご住所及びメールアドレス・電話番号

ご不明の点などございましたら、ミディエーション交渉研究所までメールにてお問い合わせください。

大学へのアクセスは、

(http://www.cc.toin.ac.jp/univ/access/univ_access.html)

キャンパスマップ(周辺地図)は、

(<http://www.cc.toin.ac.jp/univ/access/maps.html>)

をご覧ください。